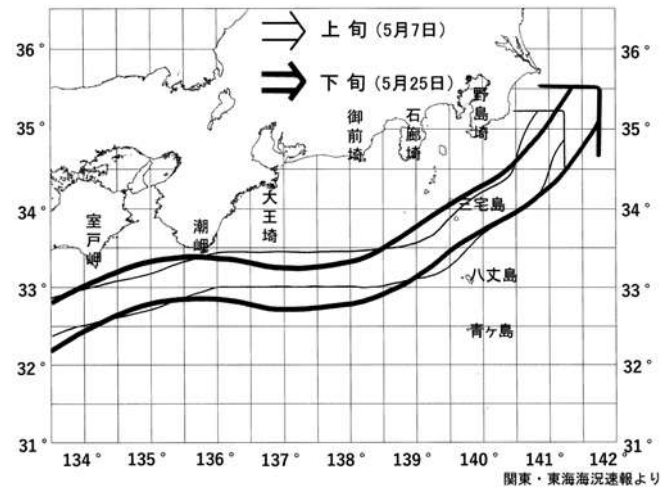


漁海況月報

令和8年5月1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.9	17.5	17.8	17.8	18.9	17.7
	0.7	0.3	0.7	-0.3	0.4	-0.4
中旬	19.4	19.2	19.1	18.3	19.6	19.5
	1.4	1.3	1.3	-0.6	0.5	0.7
下旬	19.8	20.1	20.1	19.2	19.9	19.8
	0.7	1.1	1.4	-0.5	-0.1	0.1
月	19.0	19.0	19.2	18.4	19.5	19.0
	0.9	0.9	1.2	-0.5	0.2	0.1

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

5月を通して、潮岬沖から石廊崎沖にかけて33.0°N付近を東進するN型基調の流路で推移した。上旬は潮岬沖から御前崎沖まで33.0~33.5°N付近を東進した後、石廊崎沖でやや屈曲し、八丈島の北を北東へ流去した。顕著な暖水波及は見られなかった。中旬は上旬同様、33.0~33.5°N付近を東進した後、石廊崎沖で屈曲し、八丈島の北を北東へ流去した。暖水波及は石廊崎沖の黒潮屈曲部から北西に向けて見られた。下旬は潮岬沖から石廊崎沖まで33.0°N付近をやや南に東進した後、三宅島付近を通過しながら、北東へ流去した。暖水波及は潮岬沖から御前崎沖の東進部から北へ向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東、下田で「やや高め」、稲取、雲見、沼津、焼津で「平年並」であった。中旬は伊東、稲取、下田、沼津、焼津で「やや高め」、雲見で「やや低め」であった。下旬は伊東、稲取、下田で「やや高め」、沼津、焼津で「平年並」、雲見で「やや低め」であった。

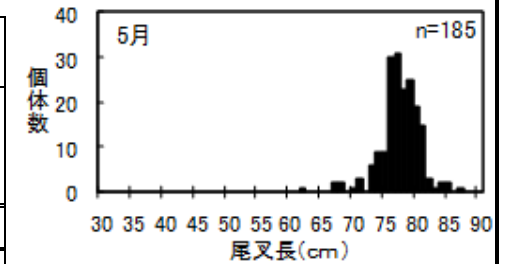
【竿釣カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは27.4トンで、前年同月(55.1トン)の50%であった。平均単価は441円/kgで前年同月(575円/kg)を下回った。

漁場は29~33°N、136~141°Eの遠州灘沖などで、5月20日に御前崎港で実施した市場調査で測定した御前崎沖において漁獲されたカツオの尾叉長組成は、特々大(尾叉長77cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R8年5月上旬	-	-	-	-
中旬	7.8	2	3.9	446
下旬	19.6	4	4.9	439
R8年5月計	27.4	6	4.6	441
R7年5月計	55.1	17	3.2	575
R6年5月計	105.0	31	3.4	383



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は211.7トンで、前年(569.6トン)の37%、平年(470.7トン)の45%であった。また、1か統当たりの水揚げ量は30.2トン(前年:81.4トン、平年:67.2トン)であった。水揚げの多い漁場は、古網漁場(142.3トン、マルソウダ、ブリ、マアジ)、次いで北川漁場(47.2トン、マルソウダ、さば類、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、マルソウダは80.5トン(前年比29%、平年比1.4倍)、さば類は28.0トン(前年比27%、平年比20%)で、水揚げされたさば類のうち、マサバは3.8トン(前年比45%、平年比14%)、ゴマサバは18.7トン(前年比28%、平年比17%)、さばっこは5.4トン(前年比20%、平年比55%)であった。ブリは17.6トン(前年比50%、平年比1.1倍)で、銘柄わらさ主体であった。スルメイカは17.2トン(前年比1.5倍、平年比1.3倍)、マアジは16.4トン(前年比18%、平年比17%)であった。その他の魚種については、クサヤモロ(1.6トン、平年比41.1倍(前年は水揚げ無し))が平成9年以降、最も水揚げが多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、マルソウダでは北川漁場が30%(24.4トン)、川奈漁場が27%(21.7トン)、古網漁場が19%(15.5トン)、伊豆山漁場が18%(14.5トン)、さば類では川奈漁場が32%(9.1トン)、北川漁場が28%(7.9トン)、富戸漁場が16%(4.4トン)、ブリでは古網漁場が35%(6.2トン)、谷津漁場が15%(2.6トン)、スルメイカでは北川漁場が39%(6.8トン)、古網漁場が21%(3.7トン)、マアジでは古網漁場が34%(5.6トン)、川奈漁場が28%(4.5トン)、伊豆山漁場が23%(3.8トン)であった。

*平年：昭和57年~令和7年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	80.5	0.29	1.44	北川、川奈、古網、伊豆山
さば類	28.0	0.27	0.20	川奈、北川、富戸
ブリ	17.6	0.50	1.05	古網、谷津
スルメイカ	17.2	1.51	1.26	北川、古網
マアジ	16.4	0.18	0.17	古網、川奈、伊豆山

【サクラエビ船曳網】

5月の出漁日数は11日、水揚量は215.8トンであった(前年同月の出漁日数は10日、水揚量は114.7トン)。主漁場は沼津沖～田子の浦沖、由比沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は37～38mmにモードがあった。なお、今春漁は5月31日夜の操業で終漁し、総水揚量は329.1トン、出漁日数は20日であった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R8年5月上旬	66.5	3	沼津沖～田子の浦沖
中旬	69.4	4	田子の浦沖
下旬	79.9	4	由比沖
R8年5月計	215.8	11	—
R7年5月計	114.7	10	沼津沖～田子の浦沖、由比沖
R6年5月計	93.6	5	戸田沖、田子の浦沖～由比沖

【まき網(さば類)】

県内3港(伊東、沼津、小川)のまき網による水揚量はマサバ0.2トン(前年同月比:0.5%)、ゴマサバ59.7トン(前年同月比:20%)であり、ゴマサバの1か統当たり水揚量(CPUE)は2.0トン(前年同月比:19%)であった。平均単価はマサバ244円/kg、ゴマサバは220円/kgであり、前年同月(マサバ:174円/kg、ゴマサバ:177円/kg)を上回った。

3港のさば類水揚量

漁港	水揚量(トン)		水揚統数	水揚量/統(トン)		平均単価(円/kg)	
	マサバ	ゴマサバ		マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ
伊東	-	-	-	-	-	-	-
沼津	0.2	18.4	21	0.0	0.9	244	215
小川	-	41.3	9	-	4.6	-	222
R8年5月計	0.2	59.7	30	0.0	2.0	244	220
R7年5月計	43.3	302.5	29	1.5	10.4	174	177
R6年5月計	443.7	709.8	59	7.5	12.0	134	176

*水揚量については、港ごと、旬ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

*CPUEの算出に船団規模は考慮していない。

【まき網(いわし類)】

マイワシの水揚量は、小川港では24.9トン(前年同月比6.8倍、平年同月比25%)、沼津港では22.4トン(前年同月比65%、平年同月比8%)で、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

カタクチイワシの水揚量は、小川港で0.6トン(前年同月比269倍、平年同月比11%)、沼津港で2.4トン(前年同月比2.8倍、平年同月比29%)であり、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシが1.0トン、カタクチイワシが6.1トンであった。
*平年:過去5か年(令和3年～令和7年)の平均値

【シラス船曳網】

県内7港の水揚量は1,321.6トンで前年同月(83.0トン)の15.9倍、平年同月(過去5か年平均:514.3トン)の2.6倍であった。また、1日1か統当たりの水揚量は683kgで、前年同月(134kg)の5.1倍、平年同月(300kg)の2.3倍であり、海域別では、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が906kg、駿河湾(吉田、用宗、由比)が381kgであった。

平均単価は507円/kgで前年同月(1,870円/kg)の27%、平年同月(1,220円/kg)の42%で、前年同月、平年同月を共に下回った。
*平年:過去5か年(令和3年～令和7年)の平均値

7港のシラス水揚量

漁港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
遠州灘	新居	107.3	14	136	789	449
	舞阪	451.3	14	555	813	413
	福田	307.7	13	309	996	447
	御前崎	141.1	14	112	1,260	467
駿河湾	吉田	214.1	16	382	560	717
	用宗	88.0	15	298	295	783
	由比	12.2	8	144	85	764
R8年5月計		1,321.6	94	1,936	683	507
R7年5月計		83.0	35	620	134	1,870
R6年5月計		398.4	80	1,697	235	1,239

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

【調査船駿河丸の動向】

5月11日～5月13日	地先定線観測調査	(3日間)
5月14日	水質調査	(1日間)
5月18日～5月20日	いわし類卵稚仔分布調査	(3日間)
5月25日～5月28日	カツオ魚群分布調査	(4日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

